

マスクROM番号	
----------	--

ルネサスシングルチップ16ビットマイクロコンピュータ
M3776AMFH-XXXGP
マスク化確認書

受 付 欄	年 月 日
	課長印 担当者印

(注) 印をすべて記入ください。

貴社 記入欄	貴社名	TEL ()	発 行 印	責任者印	担当者印
	発行日	年 月 日			

1. ご確認表

発注される品種名および提出いただくEPROM、またはフロッピーディスクを指定してください。

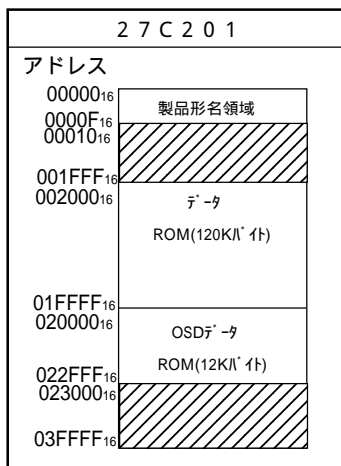
EPROMで発注される場合は1パターン当たりEPROMが3セット必要です。フロッピーディスクで発注される場合1パターン当たりフロッピーディスクが1枚必要になります。

EPROMの場合

当社では提出いただいた3セットのEPROMの内、少なくとも2セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってマスク作成を行います。したがって、このデータと生産される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくEPROMデータの内容については十分に確認をお願いします。

EPROMの全領域のチェックサムコード (16進表記)

EPROMの種類



(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は左記の製品形名領域にはデータを入れしないで下さい。

‘ M3776AMFH- ’ のASCIIコード

(番地、データとも16進表記です。)

アドレス	値	アドレス	値
00000 ₁₆	' M ' = 4D ₁₆	00008 ₁₆	' H ' = 48 ₁₆
00001 ₁₆	' 3 ' = 33 ₁₆	00009 ₁₆	' - ' = 2D ₁₆
00002 ₁₆	' 7 ' = 37 ₁₆	0000A ₁₆	FF ₁₆
00003 ₁₆	' 7 ' = 37 ₁₆	0000B ₁₆	FF ₁₆
00004 ₁₆	' 6 ' = 36 ₁₆	0000C ₁₆	FF ₁₆
00005 ₁₆	' A ' = 41 ₁₆	0000D ₁₆	FF ₁₆
00006 ₁₆	' M ' = 4D ₁₆	0000E ₁₆	FF ₁₆
00007 ₁₆	' F ' = 46 ₁₆	0000F ₁₆	FF ₁₆

- 斜線部分には “ FF₁₆ ” を入れてください。
- EPROMで提出される場合には00000₁₆ ~ 0000F₁₆番地には、製品形名のデータ格納領域になりますので、必ず上記のASCIIコードを書き込んでください。

アセンブラソースプログラムの先頭に、下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROMの00000₁₆ ~ 0000F₁₆番地に形名のASCIIコードを書き込むことができますので御利用ください。

(ご注意)

EPROMに書き込まれた形名とマスク化確認書の形名が一致しない場合、ROM処理ができませんので正確に形名記入をお願いします。

EPROMの種類	27C201	
ソースプログラムへの記述	.SECTION	CPUNAME
	.ORG	0H
	.BYTE	'M3776AMFH-'

ルネサスシングルチップ16ビットマイクロコンピュータ
M3776AMFH-XXXGP
マスク化確認書

フロッピーディスクの場合

当社では提出いただいたフロッピーディスクのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティーで生成されたマスクファイル処理してマスク化を行います。したがって、このマスクファイルと生成される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

フロッピーディスクは3.5"2HD/IBMformatで用意してください。また、フロッピーディスクに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

ファイルコード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(16進表示)

マスクファイル名

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

.MSK(英数字8桁)

(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は、製品形名を入れしないで下さい。

下記のROMデータ領域以外には、データを入れしないでください。

ROMデータ領域・・・00200016番地～01FFFF16番地，02000016番地～022FFF16番地

2. マーク指定

別紙の100P6Pマーク指定書に御記入の上、本マスク化確認書に添付して御提出ください。

3. 納入規格について

貴社へ提出する納入規格の形式について、次の中よりお選び下さい。(注に"レ"を御記入下さい。)

(1) 製品標準仕様書

ROMデータ以外の項目について規定した仕様書です。標準形式か機能説明式のどちらかをお選び下さい。

標準形式(ブロック図、製品概要、電気的特性等により構成されています。)

機能説明形式(標準形式に加えてデータブックと同様のCPU、内蔵周辺回路の動作説明が含まれます。)

(2) ROMごとの製品仕様書(ROMコードリストの要/不要をお選び下さい)

ROMコードリスト不要(標準)

ROMコードリスト要

なおいずれの形式でも保証する範囲は同等ですので、標準形式をお奨めいたします。

4. I2C-bus

M3776AMFH-XXXGPのI2C-bus機能を御使用になりますか。(注に"レ"を御記入下さい。)

使用する

使用しない

5. 使用用途

M3776AMFH-XXXGPをVCR/TVCRの何れで御使用になりますか。(注に"レ"を御記入下さい。)

V C R

T V C R

6. 特記事項